

OB PHOTO GALLERY



今回は昭和38年卒 新 恵介さんよりお手紙をいただきました。

「2017年6月3日(土)、6月4日(日)に戸田オリンピックボートコースにて行われました第10回全日本マスターズレガッタ(記念大会)に出場!男子エイト カテゴリーH(70~74才)、距離1000Mで優勝、男子ダブルスカル・男子舵手付きクオドルプルで2位となりました。天気両日共に快晴に恵まれ、53年ぶりの戸田コースでしたが、風景がすっかり新しく変わり、懐かしく漕ぎました」

昭和38年卒 新 恵介

お知らせ

今後の予定

○第44回全日本大学選手権大会
第57回オックスフォード盾レガッタ

日時(4日間)

平成29年8月31日(木)〜9月3日(日)

場所

埼玉県戸田市・戸田ボートコース



新人紹介 97代

今年、漕艇部は29名の新人部員を迎えました。新たな仲間とともに力を合わせて頑張っていきますので今後も応援の程宜しくお願いいたします。



勝田 暁登
経済学部



宗和 大樹
経済学部



西山 昂希
文学部



山根 貴之
システム理工学部



三木 まりの
法学部



登石 怜奈
環境都市工学部



加納 剣武
経済学部



竹野 将平
総合情報学部



平見 岳
法学部



木村 奈那
文学部



村上 幸子
商学部



大谷 友梨奈
社会学部



鎌田 将輝
商学部



土井 理規
商学部



矢内 晃太
環境都市工学部



小澤 絢菜
商学部



山本 実央
法学部



森山 智世
文学部



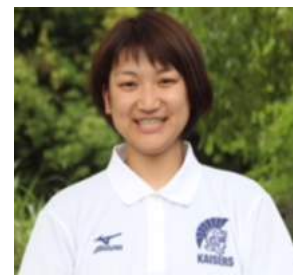
嶋田 稜之介
商学部



成田 智貴
商学部



山口 尚輝
経済学部



堂本 あいり
政策創造学部



伊藤 千裕
商学部



米田 椎菜
経済学部



狩場 甲治
文学部



西島 俊介
人間健康学部



山田 悠光
文学部



林 あかね
文学部



小林 沙耶
社会学部

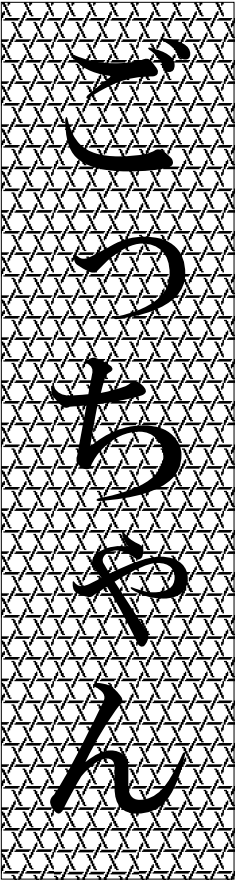
西日本選手権



女子ダブルスカル



女子1× 山本昌奈



女子ダブルスカル・女子シングルスカル 優勝!

今回の西日本選手権は、自分たちが出せる最大の漕ぎができたにも関わらず、不甲斐ない結果に終わってしまった。しかし、自分たちが何をしなければいけないのかという課題が浮き彫りになった。課題が分かったということはその分伸びしろがあるということなので、前だけを見て関西選手権に向けて全力で走り続けたいと思う。

対校4十
94代 笠原 拓哉

今回の西日本選手権はまだ慣れていない2000mのレースだったという自分で自分たちがどのくらい出せるか分からない状態で挑んだ。そして全体のレース結果としては決勝に進めなかったが、他大学との実力の差や自分たちの欠点も明らかにすることもできた。関西選手権ではこの結果を挽回できるように勝つ。

対校8十
96代 岡田 孟志

女子ダブルスカルと女子シングルスカル(山本昌奈)が決勝に進出し、見事優勝を果たしました。関西選手権へとつながる良い試合となりました。大会期間中、多くのOBの先輩方や保護者の皆様に応援にお越しいただき、有難うございました。

平成29年6月10日(土)〜6月11日(日)、大阪府立浜寺漕艇センターにて、第2回西日本選手権が開催されました。関西大学からは、男子エイト、男子フォア、女子ダブルスカル、女子シングルスカル5艇が出漕しました。



女子2×
94代 染矢 希実

全レーストップタイムで優勝できたことは素直に嬉しく、1×と共に優勝できたことは非常に嬉しい。自分のクルーが優勝するよりも、より多くのクルーと共に優勝する方が喜びも大きいことに気付いた。残る関東、インカレは男女全員で結果を残し、笑顔で引退を迎えられるよう努力していきたい。

女子1×
95代 山本 昌奈

この大会は次の関西選手権、インカレへの通過点で個人のスキルを上げることだけを考えた。優勝という結果でしたがまだまだ課題ばかりのレースでした。しかしダブルも優勝しチームとしてのいい流れは作れてきたのでここからの期間を大事にして次につなげていきたいと思えます。応援ありがとうございます。



男子対校フォア



男子対校エイト



1× 林奈々



1× 天野優希



1× 甲田侑希



1× 山本千咲

第40回 総合関関戦



平成29年5月28日(日)、神崎川にて第40回総合関関戦が行われました。今大会の開催に際しましてご協力いただきました皆様へ、心より御礼申し上げます。有難うございました。今回は関大勝利とはなりませんでしたが、この悔しさをばねに今シーズン力を出せるように頑張っていきますので宜しくお願いいたします。今後、日頃より応援していただいている皆様に良いご報告が出来ますよう、8月の関西選手権、9月の全日本大学選手権大会に向けて日々練習に励んでまいります。関関戦の後には紫紺会レガッタが開催されました。たくさんOBの皆様にご参加いただき、漕艇部のつながりの強さを改めて感じる事ができました。有難うございました。

対校8十
96代 和久井 紀彦

朝日レガッタ後のクルー編成で、念願だった対校8十のメンバーに。関大の名を背負って戦っている対校8十の先輩方にまじって練習をした。初めての対校8十に最初はなれなかったが、徐々に自分の役割の重みを実感してきた。そして厳しい練習を重ねて挑んだ関関戦だったが悔しくも敗北。本当に悔しかった。だからこそ次の関西選手権ではこの対校8十で勝利の喜びを味わいたい。

対校4十
96代 今井 健太

今回のクルーは関関戦の当日になっても全くまとまらなかった。そんな中挑んだレース。スタートから関学に出られ、1ローごとに差をつけられ、気づけば大差で負けてしまった。本当に不甲斐ないレースをしたと思う。この悔しさをばねに練習方法を見直し、次回の大会では自分たちが納得するレースをしたい。

対校4十
95代 森 千聖

今年の関関戦は残念な結果となってしまいました。あまり負けたことがない印象だったので、とても悔しいと思えました。関関戦当日、川のコンディションがあまり良くなく、ラフコンディションが苦手なことが今回の結果に繋がったと思います。来年もあるので、今回の結果を次の試合や来年に活かしていきたいと思っています。